

三菱UFJ 外国債券オープン (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券／インデックス型

第178期 (決算日：2017年8月17日)
 第179期 (決算日：2017年9月19日)
 第180期 (決算日：2017年10月17日)
 第181期 (決算日：2017年11月17日)
 第182期 (決算日：2017年12月18日)
 第183期 (決算日：2018年1月17日)

作成対象期間
 (2017年7月19日～2018年1月17日)

第183期末 (2018年1月17日)	
基準価額	7,848円
純資産総額	75,337百万円
第178期～第183期	
騰落率	1.8%
分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

投資家のみなさまにはご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

三菱UFJ 外国債券オープン (毎月分配型) は、このたび第183期の決算を行いました。

当ファンドは、ベンチマークであるシティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) と概ね連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

その結果、基準価額 (分配金再投資ベース) はベンチマークにほぼ連動する形で推移しました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

引き続き、ベンチマークの動きに概ね連動する投資成果をめざします。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記<照会先> ホームページにアクセスし、「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、ファンドの詳細ページにおいて運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

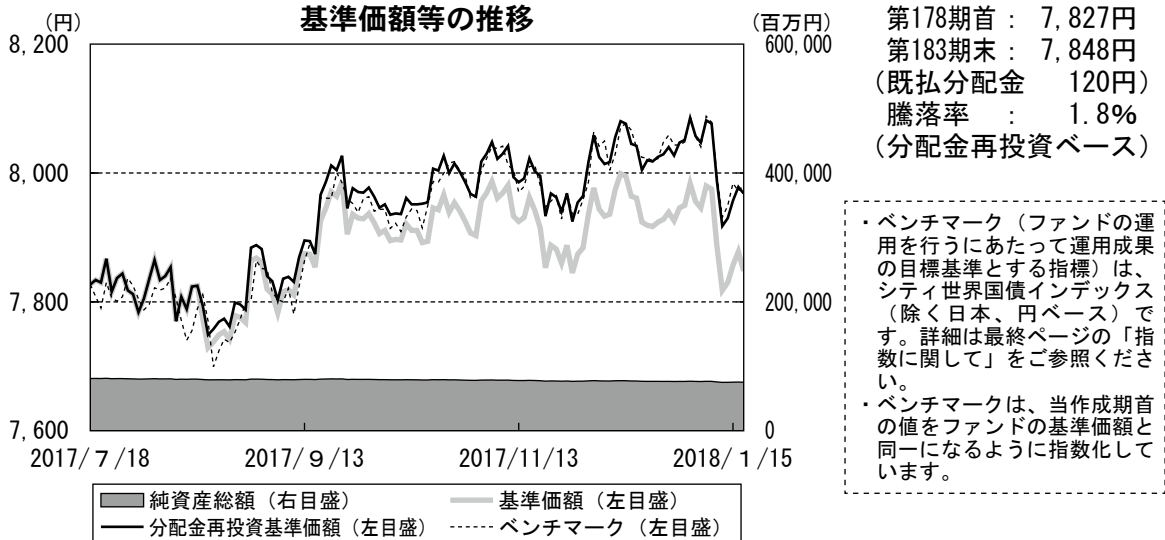
お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 (受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第178期～第183期：2017/7/19～2018/1/17）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ1.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.0%）を0.2%下回りました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の変動要因

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州経済の回復期待などを背景に、ユーロが対円で買われたことが基準価額の上昇要因となりました。 ・先進国の債券市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・米トランプ政権の政権運営の不透明感や北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりなどを背景に、米ドルが対円で売られたことが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2017年7月19日～2018年1月17日）

項目	第178期～第183期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	43円	0.542%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(20)	(0.257)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(20)	(0.257)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.012	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	44	0.554	
作成期中の平均基準価額は、7,887円です。			

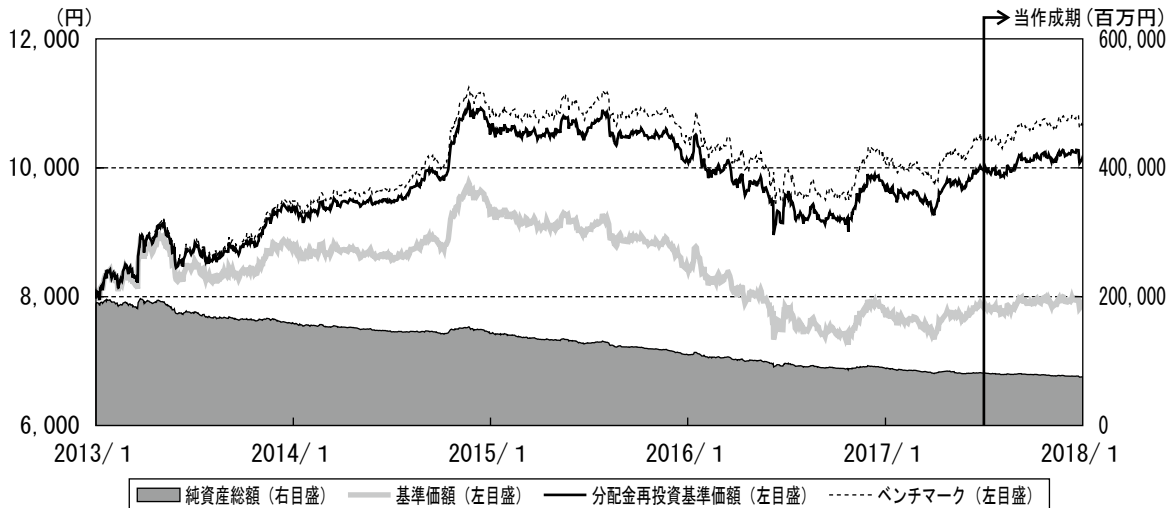
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移について

（2013年1月17日～2018年1月17日）



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2013年1月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2013/1/17 期初	2014/1/17 決算日	2015/1/19 決算日	2016/1/18 決算日	2017/1/17 決算日	2018/1/17 決算日
基準価額（円）	7,969	8,778	9,292	8,406	7,712	7,848
期間分配金合計（税込み）（円）	—	564	564	462	340	240
分配金再投資基準価額騰落率	—	17.7%	12.8%	-4.8%	-4.2%	5.0%
ベンチマーク騰落率	—	19.0%	14.1%	-3.7%	-3.4%	6.0%
純資産総額（百万円）	188,107	158,494	142,912	109,570	88,631	75,337

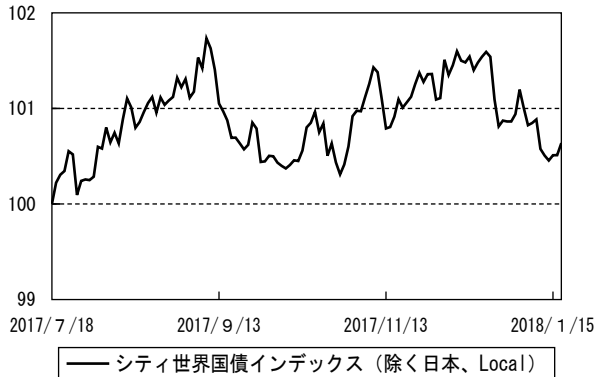
- ・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

ベンチマークは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

（第178期～第183期：2017/7/19～2018/1/17）

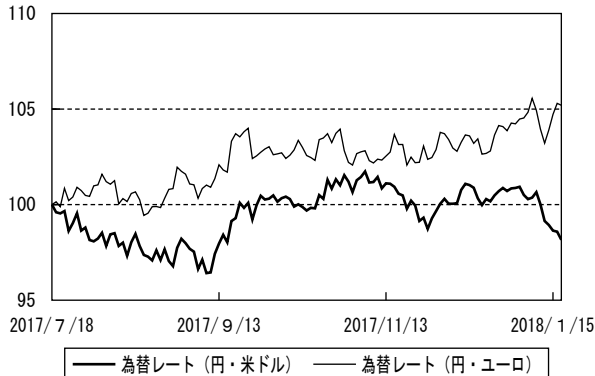
債券市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎債券市況

- ・先進国の債券市況は、米国税制改革への期待などから下落する局面もありましたが、米国のインフレが抑制されるとの観測などから、当作成期を通じて見ると上昇しました。

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・円・米ドル相場は、米国税制改革への期待などから、米ドルが対円で上昇する局面もありましたが、米トランプ政権の政権運営の不透明感や北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりなどを背景に、当作成期首との比較では、米ドルは対円で1.8%下落しました。
- ・円・ユーロ相場は、欧州経済の回復期待などを背景にユーロが対円で買われました。当作成期首との比較では、ユーロは対円で5.2%上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・当ファンドは、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）に採用されている国債を主要投資対象とし、ベンチマークに概ね連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・当作成期を通じてベンチマークの動きを概ね捉えるべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

作成期首（2017年7月18日）

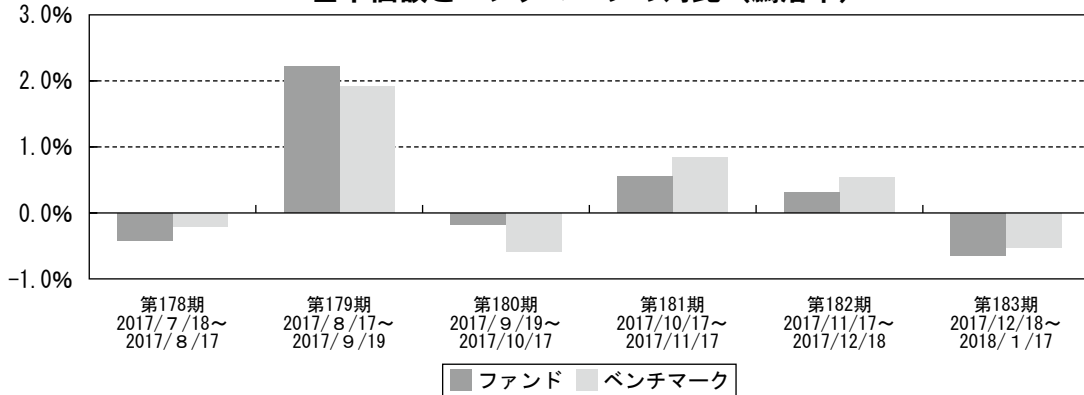
作成期末（2018年1月17日）

最終利回り	1.4%	➡	最終利回り	1.6%
直接利回り	2.7%		直接利回り	2.6%
デュレーション	6.9年		デュレーション	7.0年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第178期～第183期：2017/7/19～2018/1/17）

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

ベンチマークは2.0%の上昇となったため、カイ離は $\Delta 0.2\%$ 程度となりました。

	ポートフォリオ要因	管理コスト等要因	評価時価差異に基づく要因	合計
ベンチマークとのカイ離	0.1%程度	$\Delta 0.6\%$ 程度	0.3%程度	$\Delta 0.2\%$ 程度

（注）四捨五入などにより各要因を合算した値と合計が一致しないことがあります。

◎ポートフォリオ要因

ポートフォリオ要因による影響は0.1%程度でした。

当作成期を通じてベンチマークの動きに概ね連動するべく、組入比率は高位に保ち、地域別配分や年限構成比がほぼ同様になるようにポートフォリオを構築しました。

◎管理コスト等要因

管理コスト等による影響は $\Delta 0.6\%$ 程度でした。

信託報酬、カストディーフィーおよび取引コスト等による要因です。

◎評価時価差異に基づく要因

評価時価差異による影響は0.3%程度でした。

為替の効果および債券の効果による要因です。

為替の効果：現地通貨建て債券時価を円建てに換算する方法がファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

債券の効果：保有する債券の評価時価が、ファンドとベンチマークで異なるために生じる差異。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期	第183期
	2017年7月19日～ 2017年8月17日	2017年8月18日～ 2017年9月19日	2017年9月20日～ 2017年10月17日	2017年10月18日～ 2017年11月17日	2017年11月18日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.257%	0.252%	0.253%	0.252%	0.252%	0.254%
当期の収益	10	18	9	15	13	10
当期の収益以外	9	2	10	4	6	10
翌期繰越分配対象額	267	266	256	251	245	235

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

- ・ベンチマークの動きを概ね捉えつつ毎月分配を行うことをめざして運用を行います。

お知らせ

- ①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/>→変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）（2018年1月1日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

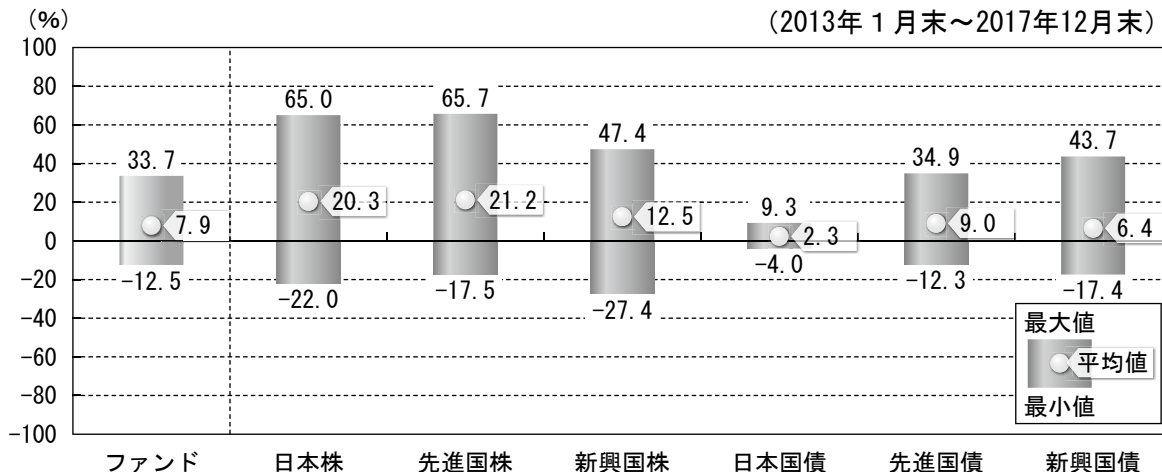
*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
信託期間	無期限（2002年8月29日設定）
運用方針	日本を除く世界主要国の国債等からなる債券市場全体の動きを概ね捉えることをめざして運用を行います。なお、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとします。
主要投資対象	日本を除く世界主要国の国債等（投資適格債）を主要投資対象とします。
運用方法	日本を除く世界主要国の国債等（投資適格債）を主要投資対象とし、日本を除く世界主要国の国債の指標であるシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の動きを概ね捉えつつ、毎月分配を行うことをめざします。
分配方針	毎月17日（ただし、17日が休業日の場合は翌営業日とします。）に決算を行い、利子・配当収益を中心に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象収益等が少額の場合には分配を行わないこともあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（2013年1月末～2017年12月末）



○上記は、2013年1月から2017年12月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

（2018年1月17日現在）

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：535銘柄）

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	1.25 T-NOTE 190331	債券	アメリカ	国債	1.7%
2	2.75 T-BOND 420815	債券	アメリカ	国債	1.2%
3	2.375 T-NOTE 240815	債券	アメリカ	国債	1.2%
4	2.625 T-NOTE 201115	債券	アメリカ	国債	1.0%
5	1.125 T-NOTE 210228	債券	アメリカ	国債	0.9%
6	2 T-NOTE 221130	債券	アメリカ	国債	0.9%
7	1.25 T-NOTE 211031	債券	アメリカ	国債	0.8%
8	3.125 T-NOTE 210515	債券	アメリカ	国債	0.8%
9	3.125 T-BOND 430215	債券	アメリカ	国債	0.8%
10	1 T-NOTE 191115	債券	アメリカ	国債	0.8%

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

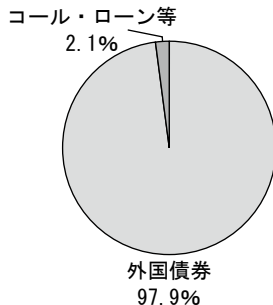
純資産等

項目	第178期末 2017年8月17日	第179期末 2017年9月19日	第180期末 2017年10月17日	第181期末 2017年11月17日	第182期末 2017年12月18日	第183期末 2018年1月17日
純資産総額	79,611,557,069円	80,223,690,350円	78,908,751,501円	77,749,068,769円	76,765,148,429円	75,337,823,321円
受益権口数	102,413,134,652口	101,217,141,669口	99,983,871,744口	98,234,847,080口	96,936,977,115口	95,999,519,324口
1万円当たり基準価額	7,774円	7,926円	7,892円	7,915円	7,919円	7,848円

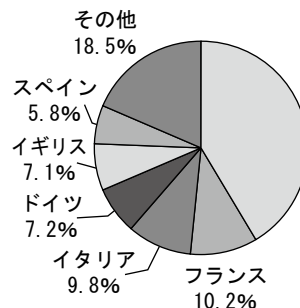
- ・当作成期間中（第178期～第183期）において追加設定元本は877,118,991円
同解約元本は8,629,415,547円です。

種別構成等

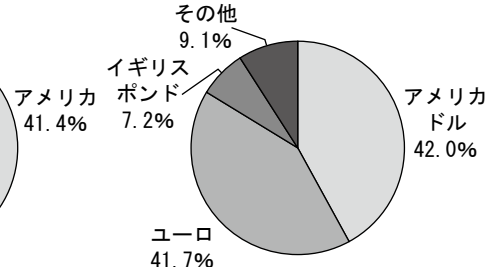
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）』について

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（国債）はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI（国債）は野村證券株式会社の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。

シティ世界国債インデックス（除く日本）

シティ世界国債インデックス（除く日本）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。